



こんな家に住みたいと思った。
悔いのないように譲れない部分だけをこだわった家。



Come Home Story

ご入居後の
お宅訪問
No.017
カムホームストーリー
南国市・Wさん家
竣工:2012年4月
設計担当:岡本 理絵



「いろいろ見に行っただけ、気持ちは揺るぎませんでした」

黒と白のツートーンの外観がひときわ目を惹くWさんのお宅。ガルバリウム合板と漆喰の塗り壁を使い分けた外観は、「ツートーンにして良かった」と建ててからもずっとWさまご夫妻のお気に入りポイントです。家賃を払い続けるならいつかは家を、と考えていたある日、たまたま見かけたk+をきっかけに出かけた見学会。「これは良い!」と、今まで見たことのないような雰囲気、デザイン性、寒い時期でもあたたかい家のぬくもりを感じ、「こんな家に住みたいと思った」と話すWさま。いろんな住宅会社を見てまわり話を聞く中で、「結局は人柄」だという奥さまは、「アットホームな雰囲気がすごく良くて、岡村さんもお金の面で親身になってサポートしてくれた」とスタッフへの信頼が、最後の決め手の一つに。最初はすぐに建てようと思っていたいなかったという旦那さまも、「絶対タイセイホームさんがいい!」と言う奥さまの思いに気持ちを動かされ、家づくりが始まったと当時を振り返ります。

「“いくつになっても飽きのこない家”をコンセプトにしました」

モダンな雰囲気で統一したいと考えていたWさまご夫妻。そのために好みの雑誌を切り抜いて一冊の本をつくり、徐々にイメージをまとめていったと奥さま。年齢やその時によってセンスが変わる、気分を選ぶのではなく「いくつになっても飽きのこない家」にこだわり抜いたと言います。「岡本さんが好みを分かってくれた」と信頼できる設計コーディネーターと何度も打合せを重ねたおかげで「全部が気に入ってます」と満足気。友人たちからも「トータルコーディネートが良い、と言ってもらえます」と喜びを見せる奥さまです。旦那さまはお気に入りの書斎で読書や調べものをし、子どもたちは以前とくらべ自由に遊べるようになり、各自の時間を大切にできるようになったと話す旦那さま。子どもたちに「あれしづらいかん、これしづらいかん」と制限することなくなり、余裕をもって家族に接することができるようになったと、今までになかった安心感が家族の絆を深め、大きくWさまの暮らしを変えました。

「建てたあとの生活まで考えて、悔いのないように」

「収納棚に建具をつけて良かった」と話す奥さま。キッチン横と背面の収納スペースに建具をオーダーし、チェッカーガラスをはめ込んだりとデザイン面も重視しています。おかげで家具を買わずにすんだと、オーダーメイドしたお家に喜びいっぱい。脱衣室の中に洗面所があるWさんのお宅では、将来仕切りができるようにとカーテンを吊るすポールを取りつけ、このひと工夫が、気になるものまで隠せると重宝しています。脱衣所の収納スペースは4人分の洗濯物と着替えを仕舞えるスペースを十分に確保しました。玄関では明るさを考え、壁に大きめのガラスをはめ込むことで昼間は照明いらず。「欲張りすぎてもダメ」と、必要なものを必要なところにだけ取り入れたムダのない設計に「すごく居心地がいい」と笑顔がこぼれる奥さま。「建てたあとの生活まで考えて、悔いのないように譲れない部分だけをこだわったらしい」と話します。夢の書斎を手に入れ大満足の旦那さまからは、「自分ばかりの意見ではなく、長年の経験がある設計士さんの意見をよく聞くこと」だとアドバイスを預かりました。